

こんにちは 日本共産党 綾部市会議員の

# つきがしら久美子です

大島町梶長16の12  
ファックス 42-9558  
携帯 090 2285 8627  
メールアドレス  
kumiko@xi.boj.jp  
ブログ  
http://kumiko.boj.jp  
ホームページ  
http://www.jcp-ayabe.jp/  
日本共産党綾部市会議員  
団のホームページです

## 議会報告

同時に配布する  
議員団ニュース  
もご覧下さい。

### 【私の質問】

女性の地位向上と労働条件の改善を求める  
・働く女性の労働条件・環境の実態  
・男女平等の社会を積極的にめざす市政へ  
「子ども子育て支援新制度」の導入をしない  
で保育水準を守ることを  
・新制度について市の見解は  
府内で最後となった「非核宣言」を  
・市民とともに「非核都市宣言」をつくる  
平和憲法を遵守することについて

### 働く女性の労働条件等の実態は

平成24年度全国調査では  
働く女性の54.5%が  
非正規雇用  
給与所得の男女差は、男  
性を100とすると女性は  
71。  
第1子出産後に約6割が  
離職  
綾部市は、男女共同参画  
社会の実現めざし「第3次  
あいプラン2011年〜2  
020年」を策定し取り組  
んでいます。  
男女平等や労働条件改善  
など、まず公務労働の現場  
で率先するべきですが、市  
職員の現状はどのよう  
か。

綾部市役所で、

女性管理職は9人(15.8%)  
生理休暇取得はゼロ  
妊婦検診休暇はゼロ  
年休取得(男女)平均9日  
妊婦検診休暇は事業主の  
義務であり、取得なしは問  
題。母性保護について市内  
で努力して保障している民  
間事業所もあります。  
市は、「休暇について取  
りやすい体制づくりの検討  
と、市内事業所の男女平等  
実現と実態調査を検討する」  
と答弁しました。

### 子ども子育て支援新制度」の導入をせざる、保育水準を守れ

2012年の「社会保障  
と税の一体改革」の中で、  
消費税増税とセットで「子  
ども子育て支援」関連法が  
成立しましたが、多くの問  
題点があります。

介護保険と同じように認  
定を受け、保育の必要時間  
が決められる。(子どもに  
よって保育時間が異なる)  
子どもの保育時間がばら  
ばらで、発達に応じた保育  
や行事が困難になる。  
短時間の保育が多くなる  
と、保育所収入にも影響が  
出る。

保育必要量を超えた保育  
は全額自己負担で保護者負  
担が増える。  
補助金が減らされ、老朽  
化した保育所の建て替えや  
改修が困難になる。  
株式会社への参入も可  
能で、保育が儲けの対  
象となる。などです。

### 府内自治体で最後となった「非核宣言」を

綾部市は昭和25年10  
月14日「世界連邦都市宣  
言」を全国に先駆けて行な  
いました。

「綾部市は日本国憲法を貫く平  
和精神に基づいて世界連邦建設  
の主旨を貫き全地球の人々と共  
に永久平和確立に邁進すること  
を宣言する」

綾部市は「全国平和首長  
会議」に加盟していますが  
その中で、2020年まで  
に核兵器廃絶が提案されて

月頃開催し、調査結果を今  
後の計画に反映する。  
市は児童福祉法  
第24条第1項の「公  
的保育」を守り、どの  
子ども平等に保育を受け  
ることが出来るよう努  
力するべきです。



保育園児全員での運動会

じて変えること  
も必要。憲法議  
論することが大

切だ」でした。

市長は反問権を使つて  
「万が一他国から攻撃され  
たらどうするか」と質問。

私は、攻撃され戦争を仕  
掛けてくる国はないと思つ  
が自衛権行使して、守るた  
め戦つて答えました。また、  
憲法9条があったからこそ、

この68年間、他国を攻め  
ることも殺されることもな  
かった。憲法9条を持つこ  
とが一番の平和の「武器」  
だと答えました。

綾部市長選挙  
1月19日告示  
26日投票

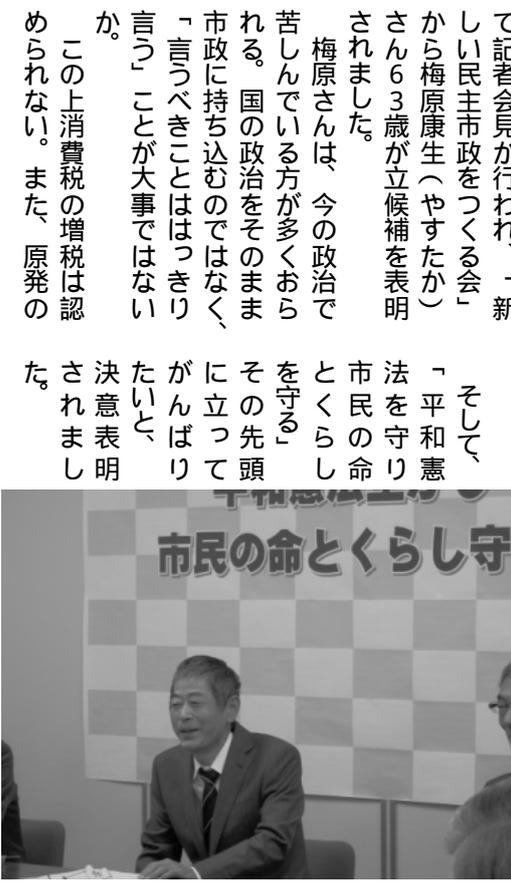
### 新しい民主市政をつくる会から 梅原やすたかさん 出馬表明

11月30日ETビルにて記者会見が行われ、「新しい民主市政をつくる会」から梅原康生(やすたか)さん63歳が立候補を表明されました。

梅原さんは、今の政治で苦しんでいる方が多くおられる。国の政治をそのまま市政に持ち込むのではなく、「言つべきことははっきり言つ」ことが大事ではないか。この上消費税の増税は認められない。また、原発の隣町に住む住民として、原発再稼働は絶対に反対だ。「福島を訪問し、この目で原発事故後の現実を見てきた」と。

そして、「平和憲法を守り市民の命とくらしを守る」その先頭に立ってがんばりたいと、決意表明されました。

すばらしい候補者で、私もがんばらねばと思いました。



### 梅原やすたかさんのプロフィール

- 1962年(S36) 綾部小卒業
- 1965年(S40) 綾部中卒業
- 1968年(S43) 綾部高卒業
- 同年 京都大学理学部入学
- 1970年(S45) 法学部に転部
- 1973年(S48) 大学院法学研究科修士課程入学
- 1975年(S50) 同大学院博士課程入学
- 1980年(S55) 3月 同大学博士課程単位修得後退学
- \* 行政法が専門
- 1980年(S55) 国立舞鶴工業高等専門学校に勤務 講師、助教授、准教授
- \* 同校の教職員組合の結成に参加し役員を歴任
- 2010年(H22) 舞鶴高専退職
- 趣味は囲碁。家族は妻と一男一女(独立)
- 現在、民主市政をつくる会代表

# 台風18号の被害調査と申し入れ

9月16日午前4時半頃「避難指示」で避難所である中筋小学校体育館へ。ふれあいセンターには中筋地域の本部と避難所も開設され訪問する。避難所での手伝いと自治会の炊き出し手伝いを行う。午後に由良川沿いの被害調査。以降、延町ボランティアや各地の調査を行う。



中筋小学校で避難所受け付けの様子

9月23日 私市町の堤防決壊の修復作業が24時間体制で行われていた。新しい堤防は今年度中に着工予定だが、用地買収もありどこまで進められるかは不明と、国交省福知山事務所へ伺いました。



私市町の築堤工事



昭和28年の水害を振り返る大槻さん

昭和28年の台風を経験された大槻さんに今回の様子を聴きました。

「一人暮らしやさかい、テレビを見て危ないことがわかった。オフトークの連絡が一番よかったです。」

「28水を経験している者から見ると、由良川水位上昇への危機感に欠ける気がする。」

など、今後の情報伝達に課題があります。



自治会長さんとともに、河川の漂流物撤去を国交省に依頼し現地調査していただいている写真です。国交省の管轄地以外の漂流物は撤去できないということです。

台風後、高津町の荒倉川は土砂の堆積がひどく、心配される声があったので京都府土木事務所へ行きました。土砂は「府民公募事業」で今年度中に取り除く予定。工期は来年度にかかるかも知れないとのことでした。合わせて荒倉川の護岸整備も要望しました。

府道綾部福知山線の協立病院前の側溝はガードレールがなく転落事故が発生しており、早急な安全対策を求めました。年度内に拡幅工事の着工をするので同時に整備することです。



高津町 荒倉川と府道



撤去後。他にも数箇所撤去していただく